

Y M F G

アジアニュース

2021年4月

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TMB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、弁護士法人ベトナム明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス



【青島支店】

タイトル

コロナ禍における対日ビジネスの新たな動き

1. はじめに

今なお新型コロナウイルスは世界中で猛威をふるい、私たちの生活や世界経済に影響を与え続けています。しかし中国では、政府当局による厳しい隔離政策や大規模なPCR検査によって新規感染者はかなり抑えられており、街中ではマスクをしていない人も増え、人通りもコロナ前とあまり変わらない生活を取り戻しつつあります。

今回はコロナ前の日常を取り戻しつつある中国の対日ビジネスへの動きを取り上げたいと思います。

2. 青島日本国際ビジネスハブ

中国は、名目GDPで米国に次ぐ世界第二位の経済大国に成長しましたが、自国のさらなる発展と技術力向上のため、現在でも積極的に海外の優れた技術・商品・サービスの取り込みを図っています。

青島市のある山東省は日本とのつながりが深い地域であり、山東省には日系企業が1,422社進出(2018年)しています。青島市には「中国(山東)自由貿易試験区」が設置され世界各国との貿易・投資誘致拡大を進めており、日系企業向けとして、2020年5月、同試験区内に「青島日本国際ビジネスハブ」を新たに建設し、ワンストップで中国進出支援サービスを受けられるようにすべく、展示館やサポートセンター、商談スペース、事務室などを備えています。

この「青島日本国際ビジネスハブ」は日中間の投資・ビジネス交流促進のため青島市が設立した機関であり、青島に進出したい日系企業や、中国に商品を販売したい、あるいは中国から商品を調達したい日系企業の相談を受け付けています。日本語対応が可能なスタッフが常駐しており、進出を検討している企業については法務、税務などの相談を受けることが出来るほか、専門家への紹介や、マッチングできる中国ロー

カル企業の紹介も行っています。



写真 青島日本国際ビジネスハブ 左：展示棟 右：事務所棟 （筆者撮影）

また、日本製の商品や機械を展示するスペースもあり、中国国内にアピールしたい企業が自社製品を展示することが出来るほか、協賛する日本の各都道府県が名産品なども展示しています。



写真 青島日本国際ビジネスハブ 展示棟内 製品展示スペース（筆者撮影）

現在は新型コロナウイルスの影響により渡航が厳しく制限されており、実際に現地を視察することは困難ですがオンラインでの相談を進めており、既に青島に日系企業が7件約457億円を投資する案件が成立するなど、対日ビジネスにおいて注目を浴びているプロジェクトとなっています。将来的には日本の六本木をモデルとした日本街を建設する計画もあり、青島市が国際交流都市として成長することを目標にインフラ面も整えつつあります。

3. YMFG 海外バイヤーオンライン商談会

現在、新型コロナウイルスの影響により日中間の渡航が難しくなっている中で、以前は中国で日本の商品を買う場合に主流であった「代购（だいがう）」という方法が取れなくなってきました。これは、主に中国人旅行者が日本へ行き、大量に商品を買っ

てハンドキャリーで持ち帰ったうえでネット販売する方法です。

しかし、実は日本の商品はコロナ前と比べて種類も増え、手軽に買えるようになってきています。以前は中国人旅行者や代购業者が中国人の中で評価の高い商品を自分で買って転売していましたが、今は正規ルートで輸入せざるを得ず、お互いの商談を経て様々な商品を輸入するようになってきています。



写真 中国のコンビニで並ぶ日本商品や日本式の食材（おにぎり等）（筆者撮影）

山口フィナンシャルグループでも「YMFG 海外バイヤーオンライン商談会」を定期的に行い、コロナ禍の中でも出来る海外進出支援をさせて頂いております。



写真 YMFG 海外バイヤーオンライン商談会の様子（筆者撮影）

2021年3月に行われた商談会では、青島に進出している日系コンビニエンスストアで売ることが出来る商材を募集し、様々な商品について商談が進められました。

和菓子、乾麺やアルコール、お菓子や調味料など幅広い商材について応募があり現地バイヤーの方からも「面白い商品が有り、非常に有意義な時間となった」との評価を頂きました。

実際の商談では、価格面で合わなかったケースもありましたが、中国の法規制や食

文化に合わない商材など、実際に現地のバイヤーと接することで有益な情報が得られ、同席させて頂いた現地駐在員も大変勉強になる商談会でした。

4. 最後に

新型コロナウイルスの影響はビジネスの環境にも及んでいます。外国人旅行者の減少によりインバウンドも減少傾向にある中で、「代购（だいがう）」のようなビジネスモデルも減少しつつあり、新たな商材の流れが始まりつつあります。

これまで世界各地を旅行していた中国人は国内旅行や国内消費をせざるを得ない状況になってきており、百貨店では高級ブランド商品がハイペースで買われるようになっているそうです。

また、日本の消費環境が低迷している中で、海外に活路を求める日本企業も確実に増えており、山口フィナンシャルグループの海外拠点でもそのお手伝いをさせて頂く機会が格段に増えてきました。

中国では新型コロナウイルスの新規感染者を厳しい施策で抑える一方、ワクチンの接種も急速に広がりつつあり、我々の職場でもワクチン接種完了者が出始めています。

このように世界の中でもトップスピードで「アフターコロナ」に向けて動き出している中国は海外進出を検討されるうえで非常に有望なマーケットではないでしょうか。

山口フィナンシャルグループでは海外進出支援を積極的にお手伝いしており、海外戦略部と海外拠点が密接に連携してお手伝いをさせて頂いております。ぜひお気軽にお問合せください。

(山口銀行青島支店 浅上 雅典)

【画像】

全て筆者撮影

【参考文献】

JETRO ホームページ「中国（山東）自由貿易試験区は日中韓経済協力の深化を目指す」

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/09/07ab09da6ffb8620.html>